

地域銀行の平成 20 年 9 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、債券の減損処理費用の増加、手数料収入の減少等により、前年同期に比べ 24.0%の減益。
- 中間純利益は、実質業務純益の減益に加え、不良債権処理費用や株式等の減損処理費用の増加等により、前年同期に比べ 62.8%の減益。

(単位：億円)

	18 年 9 月期	19 年 9 月期	20 年 9 月期	前年同期比
業務粗利益	25,231	25,953	23,850	▲ 2,102
資金利益	22,345	22,623	22,527	▲ 96
役務取引等利益	3,167	3,302	2,729	▲ 572
債券関係損益	▲ 435	▲ 152	▲ 1,843	▲ 1,691
実質業務純益	9,546	9,903	7,522	▲ 2,380
不良債権処理費用 (▲)	▲ 3,479	▲ 3,772	▲ 5,373	▲ 1,601
株式等関係損益	935	778	163	▲ 614
うち、株式等償却 (▲)	▲ 227	▲ 337	▲ 991	▲ 654
中間純利益	4,028	3,747	1,394	▲ 2,353

(※)20 年 9 月期中間純利益は、預金保険機構から足利銀行に実施された金銭贈与 2,566 億円を除いて集計。

(参考)

	18 年 9 月期	19 年 9 月期	20 年 9 月期
貸出金	189.0 兆円	193.7 兆円	199.0 兆円

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は 20 年 3 月期に比べ増加。不良債権比率も僅かながら上昇。

	19 年 3 月期	20 年 3 月期	20 年 9 月期
不良債権額	7.8 兆円	7.5 兆円	7.9 兆円
不良債権比率	4.0 %	3.7 %	3.9 %

(注) 最高値は 14 年 9 月期：15 兆円、8.3%

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率（足利銀行を除く）は 20 年 3 月期に比べ僅かながら低下。

	19 年 3 月期	20 年 3 月期	20 年 9 月期
自己資本比率	10.4 % (10.8 %)	10.3 % (10.7 %)	10.4 % (10.4 %)

(※) () 内の計数は、特別危機管理銀行であった足利銀行を除いて集計。

(注1) 19年9月期、20年3月期及び20年9月期の集計対象は110行（地方銀行64行、第二地方銀行45行及び埼玉りそな銀行）

19年3月期の集計対象は111行（地方銀行64行、第二地方銀行46行及び埼玉りそな銀行）

18年3月期及び18年9月期の集計対象は112行（地方銀行64行、第二地方銀行47行及び埼玉りそな銀行）

(注2) 計数は単体ベース。ただし、不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。

(注3) 19年9月期及び18年9月期の計数については、業績修正を行った銀行があるため、過去の当庁公表数値と異なる。